

ユニセフ・チャリティーコンサート

Benefit Concert

第1部

■吹奏楽 指揮:安原 理喜 コルネット:アンドレ・アンリ

A.S.プチ / コルネットのための幻想的ポルカ「水のしたたり」
A.S.Petit / gouttes d'eau fantaisie polka pour cornet à pistons

指揮:アンドレ・アンリ

F.スッペ(S.ヴェラート編曲) / 喜歌劇「美しきガラテア」序曲
F.Suppé(S.Verhaert) / Die schöne Galathea Overture

第2部

■ア・カペラ合唱 指揮:広瀬 宣行

文部省唱歌(西下航平編曲) / 冬景色

林古溪作詞 成田為三作曲(西下航平編曲) / 浜辺の歌

■二重奏 フルート:清水 伶 オーボエ:佐藤京香 ピアノ:藤田真央

J.ドゥメルスマン / ウィリアム・テルの主題による華麗なる二重奏曲
J.Demersseman / Guillaume Tell,Duo Brilliant

■女声合唱 指揮:坂本 和彦 ピアノ:只野 なつき ヴァイオリン:関 朋岳
ソプラノ:砂田 愛梨 バリトン:小森 輝彦

F.レハール / 喜歌劇「メリー・ウィドウ」より
F.Lehár / Die lustige Witwe

第4曲 ダニーロの登場の歌
Nr.4 Auftrittslied des Danilo

第14曲 シャンソン
Nr.14 Chanson

第15曲 二重唱“とどした唇に”
Nr.15 Duett“Lippen schweigen”

第16曲 大詰の合唱
Nr.16 Schlussgesang

第3部

■オーケストラ 指揮:三原 明人 チェロ:ドミトリー・フェイギン

J.オッフェンバック / 喜歌劇「天国と地獄」序曲
J.Offenbach / Orphée aux enfers,Ouverture

C.サン＝サーンス / チェロ協奏曲 第1番 イ短調 op.33
C.Saint-Saëns / concerto pour violoncelle et orchestre n° 1 en la mineur op.33

L.v.ベートーヴェン / 序曲「レオノーレ」第3番 op.72b
L.v.Beethoven / Leonore,Ouverture Nr.3 op.72b

※都合によりプログラムが変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

2016/12/2(金) 18:00開演 (17:30開場) 入場料:1,000円 [全席指定]

東京芸術劇場コンサートホール

「JR」東武東上線「西武池袋線」池袋駅西口より徒歩2分。地下通路2b出口と直結しています。

東京音楽大学付属高等学校は、黒柳徹子さんの活動に賛同し、この演奏会の収益から入場料の半額をUNICEF(国連児童基金)を通じて世界の子どもたちのために使わせていただきます。

主催:東京音楽大学付属高等学校
後援:豊島区教育委員会・文京区教育委員会・UNICEF(国連児童基金)東京事務所・東京音楽大学後援会・東京音楽大学校友会・東京音楽大学付属高等学校後援会
お問い合わせ:東京音楽大学付属高等学校チャリティーコンサート係 Tel.03-3945-6214
チケット前売り(9月6日発売):東京芸術劇場ボックス オフィス Tel.0570-010-296 東京音楽大学A館地下カワイ売店(店頭販売のみ) Tel.03-5954-1970

ごあいさつ



UNICEF親善大使
黒柳 徹子

今年もチャリティコンサートがやってまいりました。卒業生として、付属高校の皆さんの素晴らしい演奏と、世界の子どものことを思う気持ちを誇りに思っています。今日は、そのまっすぐな心が優しい響きとなって会場いっぱいいに響くことでしよう。今年3月、私はユニセフ親善大使として昨年4月に大地震に襲われたネパールを訪れました。2009年に続き2回目の訪問です。仮設住宅を訪れ、家族を亡くし涙にくれる子どもや家族に会いました。彼らの涙を見て、私もとてもつらかったけれど、寄り添い、子どもやお母さんの手を握りました。子どもたちがどう早く希望を取り戻してくれようかと、仮設住宅を離れる時、UNICEFの現地職員に願いを託しました。嬉しい出来事もありました。前回の訪問で出会った女の子が、訪問の最終日になんと私に会いに来てくれたんです。7年前、彼女は15歳で、採掘場で働く児童労働者でした。彼女には夢がありました。それはデザイナーになること。頑張って勉強して、夢をかなえなさいねと言ったことを覚えています。今回、彼女は私の顔を見ただけで泣き出しました。7年前に私と会ってから人生が変わったんです。それまでは自分のことを気に留めてくれる大人はいなかった。だけど、徹子さんが話しかけてくれたから、「私の話を聞いてくれる人もいる。頑張れば周りが認めてくれるようになるかもしれない」と考えるようになった。と話してくれました。彼女は、こつこつ貯金したお金でミシンを買い、UNICEFなどの支援で学校に行き、今は縫製の上級クラスに通っています。グリーンの花模様のスカートに、ネパールの伝統的な布のブラウスを私のために作ってもらって来てくれました。みんな泣きました。7年前には砂を運んでいた少女が、今は夢に向かって歩んでいる…。一人の女の子の人生が親善大使である私の一言で大きく変わったと知るのには、私にとっても胸を打つ出来事でした。皆さんが今日UNICEFに託してくれたお金は、途上国や紛争国で子どもたちに届け、彼らの人生を変えていきます。もしかしら、音楽家を目指す子も出てくるかもしれません。そんな夢を描きながら、今日は未来の音楽家たちの演奏を楽しんでいたただけなら幸せです。

ドミトリー・フェイギン [チェロ]

ロシア人チェリスト、ドミトリー・フェイギンは、有名なチェリストであった父、ヴァレンティン・フェイギンと有名なチェリスト教師であった母ガリーナ・ズーヴァレヴァのもとにモスクワに生まれる。モスクワ音楽院附属音楽学校のもとで英才教育を受け、その後モスクワ音楽院に入学し、同大学院を卒業する。その間チェロを父に師事する。在学中、モスクワ音楽院大ホールにてアレクサンドル・ヴェデルニコフの指揮でデビューする。その後ショスタコヴィチ国際室内楽コンクールや、日本のヴィヴァ・チェロコンクールなど数々の賞を受賞する。1986年からロシア国内外で演奏活動を始める。95年からは、モスクワコンサートフィルハーモニー協会のソリストを務める。日本でも小林研一郎や広上淳一など著名な指揮者、読売交響楽団、名古屋交響楽団、仙台交響楽団などと共演する。現在、東京音楽大学教授。2016年3月に発売されたCDは、レコード芸術の準特選盤に選ばれた。近年では、モスクワ、韓国、日本にて国際コンクールの審査員も務める。

砂田 愛梨 [ソプラノ]

東京音楽大学付属高等学校声楽専攻、東京音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻(声楽演奏家コース)、同大学院音楽研究科声楽専攻オペラ研究領域を総てで修了。在学中、特待生奨学金を授与される。第13回東京音楽大学コンクール声楽部門第2位。これまでに東京音楽大学主催卒業演奏会、読売新聞社主催第83回新人演奏会、公益財団法人としま未来文化財団・豊島区主催「第7回シンデレラコンサート」、オペラサロン・トナカイ等、様々な演奏会、オペラに出演している。2007年付属高校在学中に東京音楽大学創立100周年記念オペラ公演「フィガロの結婚」花娘役で出演。大学院オペラでは「フィガロの結婚」スザンナ、「魔笛」パミーナ、「ランメルモールのルチア」ルチアで出演。これまでに成田繪智子、安達さおり、市川倫子、釜淵祐子、谷池重軸子、小森輝彦の各氏に師事。現在、新国立劇場オペラ研修所第18期生に在籍。

小森 輝彦 [バリトン]

東京都出身。東京藝術大学、同大学院、文化庁派遣芸術家在外研修員としてベルリン芸術大学に学ぶ。第2回藤沢オペラコンクール第2位。平成12年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。ベルリン芸大在学中の1999年にプラハ国立劇場「椿姫」ジェルモンでヨーロッパデビュー。2000年以降ドイツのゲラ・アルテンブルク市立劇場専属第1バリトンとして、12シーズンに渡って同劇場を牽引した。その傍らザルツブルク音楽祭をはじめとしてヨーロッパ各地に客演し、演じた役は70を超える。レクイエムや、マラー「さすらい若人の歌」などオーケストラとの共演も多く、ドイツ・リートのリサイタルでも、常に本場ドイツの聴衆の強い支持を受けてきた。それらの芸術的功績に対し、日本人として初めて「ドイツ宮廷歌手」の称号を授与され、2012年11月より拠点を日本に移した。充実期を迎えた演奏に熱い期待が寄せられている。東京音楽大学教授、二期会会員。

清水 伶 [フルート]

1998年生まれ。9歳よりフルートを始める。2012年、第66回全日本学生音楽コンクール中学の部全国大会第1位。2014年、第68回同コンクール高校の部全国大会第1位。2013年、第23回日本クラシック音楽コンクール中学の部第1位グランプリ。2016年、第21回びわ湖国際フルートコンクールジュニア部門第1位及びオーティエンス賞を受賞。2013年、飯森範親氏指揮東京交響楽団と協演。これまでに、堀井恵、神田寛明、工藤重典、中野真理の各氏に師事。また、E.バコ、P.ベルナルド、A.アドリアン、M.コブラー氏などのマスタークラスを受講。現在、東京音楽大学付属高等学校3年に特別特待奨学生として在学中。2015年度よりヤマハ音楽振興会音楽奨学生。

佐藤 京香 [オーボエ]

1998年生まれ。8歳よりオーボエを始める。現在、東京音楽大学付属高等学校3年に特別特待奨学生として在学中。これまでにオーボエを寺島陽介、宮本文昭の各氏に師事。また、ジェローム・ギシャール、クリストフ・ハルトマン、フランソワ・ルルー、ダヴィッド・ワルター各氏のマスタークラスを受講。第15回下倉楽器ソロコンテストにて優秀賞・ヤマハ賞・洗足学園大学賞受賞。以降、第10回及び第13回日本ジュニア全管打楽器コンクール金賞。第22回日本クラシック音楽コンクール第1位グランプリ。第1回K木管楽器コンクールオーボエ部門高校生部の第1位・特別賞受賞。第64回TIAA全日本クラシック音楽コンサート最優秀賞グランプリ。

藤田 真央 [ピアノ]

国内外で演奏活動を行っており、ショパン国際音楽祭(ポーランド)、世界のアッジ音楽祭(イタリア)、パート・ラガツ次世代音楽祭(スイス)などの音楽祭に出演。国内においては、これまでに、現田茂夫、飯森範親、大友直人の各氏の指揮のもと、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団等のオーケストラと共演。意欲的に演奏活動を行っている。第5回ロザリオ・マルチアーノ国際ピアノコンクールGroup B 第1位(2013年・オーストリア)、第1回若い音楽家のためのモーツァルト国際音楽コンクールGroup B 第1位(2015年・中国)、第20回浜松国際ピアノアカデミーコンクール 第1位(2016年・日本)。現在、東京音楽大学付属高等学校ピアノ演奏家コース・エクセレンス3年生。



関 朋岳 [ヴァイオリン]

第64回全日本学生音楽コンクール小学校の部東京大会第1位。第20回日本クラシック音楽コンクール全国大会第3位(最高位)。第65回全日本学生音楽コンクール中学校の部東京大会第1位。これまでに、モーツァルト、メンデルスゾーン、ブラームスの協奏曲をオーケストラと共演したほか、リサイタルやサロンコンサートに出演。現在、東京音楽大学付属高等学校3年に特別特待奨学生として在学中。これまでに小林健次、神谷美千子、原田幸一郎の各氏に師事。

只野 なつき [ピアノ]

東京音楽大学卒業、同大学院鍵盤楽器研究領域(伴奏)修士課程修了。第8回日本アンサンブルコンクール室内楽部門入選。イタリア・ボローニャでのコンサート出演や、フランス・クールシュベール夏期セミナーに参加し研鑽を積む。2007年より郷里の福島にて毎年リサイタルを行っている。これまでにピアノを河邊亮子、篤見加寿子、伴奏法・室内楽を土田英介、水谷真理子、浦川宜也の各氏に師事。現在、東京音楽大学非常勤講師、同大学付属高等学校講師。弦楽器や声楽の伴奏を中心に室内楽やピアノソロなど幅広く演奏活動を行っている。

アンドレ・アンリ [トランペット]

フランスに生まれ、M.アンドレのレコードを教師に、独学で12歳よりトランペットを始める。その後、アヴィニョン国立高等音楽院でトランペット、コレネット共に1位を獲得。これを機に世界各国で演奏会を行い、多くのコンクール優勝者リストに名を連ねてきた。また教育にも多くの情熱を注ぎ、パリ高等音楽院、ボルトアレグロ音楽大学、バレンシア音楽院をはじめヨーロッパ、アジアの教育機関で教鞭をとってきた。現在、東京音楽大学教授、同付属高等学校講師、＜受賞歴＞リヨン・キワニスクラブ名手コンクール1位、ロース・アルプスコンクール1位、トゥーロン国際コンクール1位、世界音楽コンクール1位、ジュネーブ国際コンクール優勝。

安原 理喜 [指揮]

オーボエ奏者。1947年東京生れ。桐朋学園高等学校音楽科、デトモルト北西ドイツ音楽大学にて鈴木清三、H.ヴィンジャーマン各氏に師事。東京交響楽団、アウグスブルク管弦楽団各首席奏者を経て、現在、東京音楽大学准教授、同付属高等学校兼任講師として、オーボエ、室内楽、管打指導法を担当。

広瀬 宣行 [指揮]

東京音楽大学器楽専攻(ピアノ)卒業。1983、84年NHK・FMリサイタルに出演。96年モーツァルトテウム国立音楽大学アカデミーにてコレペティトゥールの研鑽を積む。ヴァイオリンの大谷康子、ヴィオラの兜東俊之、G.ハーマー、トロンボーンの前藤孝司、G.ヘルゾンスキー、バスの岡村善生氏等、数多くの一流ソリストと共演。「東京国際ピアノコンクール」「ローゼンストック国際ピアノコンクール」「グレンツェンピアノコンクール」等の審査員を務める。2002～03年、NHK学園にて「ゴスペル講座」の講師。著書に「ピアノ初見演奏法」がある。東京音楽大学准教授及び同付属高等学校講師。全日本ピアノ指導者協会会員。

坂本 和彦 [指揮]

日本オペラ振興会会員指揮者。公益法人としま未来文化財団音楽監督。日本指揮者協会監事及び事務局長。日本オペラ振興会歌手育成部講師及び指揮者。東京音楽大学、同付属高校講師。大学在学中、チューリッヒに留学。同地歌劇場にて4年半学ぶ。1994年には、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団、ベルリンドイツ交響楽団にて研鑽を積む。2012年には、ローザンヌにて、スイスロマント管弦楽団と共演。2011年8月デビューした女性だけのパフォーマンソークエストラ「G・dream21」の音楽監督、指揮者を務める。皇居にて行われた天皇陛下即位20年、御成婚50年をお祝いするにあたり作曲された「太陽の国」(東京都交響楽団、EXILE歌唱)の御前演奏の指揮者を務めた。27年度東京都文化功労賞を受賞。

三原 明人 [指揮]

ヴァイオリン、ピアノ、作曲を学び、東京藝術大学でヴァイオリンを専攻。同大学卒業後、桐朋学園大学とウィーン国立音楽大学で指揮を学ぶ。1989年第2回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールで第2位入賞。アムステルダムでオランダ放送フィルを指揮してデビュー以降、ヨーロッパと日本を中心に各地で指揮活動を展開する。また、バーンスタインやアバドのアシスタントを務め研鑽を積む。その後、フィンランド・クオピオ響、ソフィア・フィルなどのオーケストラを指揮する。現在、東京音楽大学指揮助手、同付属高等学校講師を務め、高校オーケストラの指導にあつている。